

# 静岡福井県人会会報

令和6年2月16日発行

第269号

事務局 〒411-0833 静岡県三島市中 247-5-B101 武長敏彦 様方

TEL/FAX 055-976-3925 MAIL jkeh6434@yahoo.co.jp

## 令和6年 新年会のご報告 会場内は終始和やかなムードに・・・

私共静岡福井県人会では、恒例の新年会が4年ぶりに去る1月21日(日)に開催されました。その日は朝から生憎くの雨模様で、正午から始まりました。当日は来賓として、福井県東京事務所から湯川直副所長様ご出席下さいました。湯川様は首都圏統括監兼東京事務所副所長で大変重要な要職にあります。司会進行は、小林事務局長が担当し、開会を告げたあと、武長会長が挨拶に立ち年頭の挨拶のあと、4年ぶりに新年会が開催されることと、今日この会場で皆さんの元気な姿、明るい笑顔での再会を大変嬉しく思います・と。そのあと1月元旦の夕方、突如として発生した能登半島地震。家族が楽しく団欒している4時過ぎに、M7.6の大地震が平穏な家庭を突然襲ったのです。テレビでは、懸命な救助活動の様子が画面に。昨日までに何と230余名の尊い命が奪われた、と報道があった。実に痛々しい現実が連日報道されています。本日この会場にお集まりの皆さんと一緒にご冥福をお祈りしましょう・・・と。このあと話は故郷のことに。今年の故郷はハッピーで輝く年になりますよ、と。待望の北陸新幹線が、いよいよ県内を走るのです。この件に関しては湯川様に詳しく話をして頂きましょう・・・として、挨拶を終えられた。

続いてご来賓の湯川副所長様が挨拶に立たれ、福井県の現況、高速道路の整備状況などの説明のあと、話の中心は北陸新幹線の敦賀延伸、運行まであと55日となり、3月16日がいよいよ開業する運びとなりました。その際には会員の皆さん方大勢で是非福井へ来て下さい、と。芦原温泉駅への発着の時間帯も都合良くダイヤが組まれておりますよ、とのセールスも。

他には、県として首都圏での活動や、今後の取り組みなどのお話がありました。そのあと全員で記念撮影を終えたあと開宴となり、中井先生の乾杯の発声で、会場はしばらく歓談タイム。皆さん久しぶりの再会で話題は尽きない様です。次に今日参加された方々の紹介をした後、少し古い時代のことで、平成初めの頃に静岡県内で全国的なスポーツ競技大会が幾度か開催されたことがありましたが、その際に福井県の代表として出場される選手団を応援しようとして応援用の大きな幕に「歓迎 福井県選手団」の大きな字幕を刻み、これを持って大勢の会員と一緒に会場に駆け付けた。その当時の会の活動を谷田相談役に説明して頂きました。その後余興となり浜松から出張って来て頂いた岩瀬さんによる足の芸が披露され、何とも見事な足芸で、会場内は拍手喝采でした。

その後、参加者から近況



をひと言ずつ話して頂いたあと、中井先生から「故郷の良さ、大切さ、そして愛」を主旨とした格調高い、貴重なお話を聞かせて頂きました。あと全員で「ふるさと」を合唱し、三本締めで閉会となりました。久しぶりの集まりで、皆さんが存分に歓談され、楽しい新年会となりました。

## 北陸新幹線レポート

### 開業日が3月16日に決定しました！



北陸新幹線開業PRポスター（県作成）

8月30日（水）、JR西日本・東日本から、北陸新幹線金沢・敦賀間の開業日が令和6年3月16日（土）と公表されました。また、運行本数や停車駅なども、合わせて公表されました。

県内区間には、東京・敦賀間直通列車として、「かがやき」9往復、「はくたか」5往復の計14往復が運行します。また、北陸内（富山・敦賀間または金沢・敦賀間）を運行する「つるぎ」が25往復運行します。

「かがやき」については、福井駅、敦賀駅への停車に加え、芦原温泉駅、越前たけふ駅にも、それぞれ2往復停車します。これにより、「かがやき」は県内全駅へ停車することとなります。

開業すると、福井・東京間が、現行※より33分短縮され、最速2時間51分で直通できるようになります。

※米原経由、東海道新幹線（ひかり）を利用した場合

### 新幹線車両が福井に初入線しました！

9月23日（土）より、北陸新幹線（金沢・敦賀間）の車両走行試験が始まり、新幹線電気・軌道総合検測車 East-i（イーストアイ）が初日の23日に、営業車両である新幹線W7系電車が26日に、金沢・敦賀間を初走行しました。

これを受けて、23日には、福井県や新幹線駅設置市等で構成する北陸新幹線金沢・敦賀間しゅん功開業式等福井県実行委員会※が、芦原温泉駅において、北陸新幹線（金沢・敦賀間）初入線歓迎式典を開催しました。

※構成団体：福井県、福井市、敦賀市、あわら市、越前市、JR西日本金沢支社、鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局、（株）ハピラインふくい、福井県北陸新幹線建設促進同盟会



歓迎式典（くす玉開被）



入線時の様子



## ふくい平安めぐり・・・紫式部・安倍晴明ゆかりの地を訪ねて

今年のNHK大河ドラマ「光る君へ」が、いよいよ1月7日から始まった。

「源氏物語」を著した紫式部は、日本文学を代表する文学者の1人ですが、紫式部が18歳の頃に父藤原為時に連れられて越前の地で1年余りを過ごした時があった。そこで地元ではその往時の紫式部を偲んで記念になるような公園を整備したらどうか?との発想から、庭園を平安時代当時の頃の寝殿風に造り、その一角に金色に輝く紫式部像や、歌碑、泉池を望む釣殿などを完成させた。紫式部が見つめる先にあるのが日野山であります。

公園から眺められる日野山は、まさに絶景であります。

紫式部公園付近には、紫ゆかりの館や、本興寺などがあります。



### 1 紫式部公園

紫式部をしのび、平安時代の庭園を再現して整備された全国で唯一の寝殿造庭園。園内には金色に輝く紫式部像、紫式部歌碑、泉池を望む釣殿、藤橋などがあり、公園から見る日野山は格別です。

◆越前市東千福町20-369 ☎0778-22-3012(越前市都市計画課)



### 3 本興寺(紫式部ゆかりの紅梅)

本興寺本堂の前にある「紫式部ゆかりの紅梅」。父・藤原為時と一緒に越前に来ていた紫式部が、京へ帰る時に梅を植えたという言い伝えがあります。紫式部が植えた梅は白梅ですが、亡くなったあと、娘の賢子が母をしのんで紅梅を植えたといわれています。現在の紅梅は4代目で、春には見事な花を咲かせます。

◆越前市国府1-4-13 ☎0778-22-2107



### 2 紫ゆかりの館

紫式部と安倍晴明は、ともに平安時代に活躍し、その偉業は現代まで語り継がれています。「源氏物語」を著した紫式部は、日本文学史を代表する女性文学者の一人。青春時代の1年余りを越前で過ごした経験が、創作活動に大きな影響を与えました。安倍晴明は天文暦学を深く極めた優れた陰陽師で、現在の嶺南に移り住んで研究を重ねたといわれています。

ふくい  
平安めぐり  
紫式部・安倍晴明ゆかりの地を訪ねて

## 紫式部



《付録》街なかや、雑誌などで見つけたり聞いたりした川柳をよせ  
集めた「おもしろ川柳」集です。

◆ 認知症 初恋だけは 覚えてる

◆ かんしゃくの くの字を捨てて 日を暮らす

◆ 指にぶい こんなに口が 動くのに

◆ 足腰に 脳に心臓 みな年期

◆ 走り書き 自分で書いた 字が読めぬ

◆ 手を握る おかし新婚 いま介護

◆ 目覚めても 身体が起きぬ 老年期

◆ 血圧を 薬で下げて 酒で上げ

◆ 年重ね 増える白髪と 診察券

◆ いびきより 静かなほうが 気にかかる

◆ 生きようと 思えば知患も 湧いてくる

◆ 薬だと思つて飲もう 妻のグチ

◆ 腹を立て 心の中は 乱気流

◆ 止めたいが 言うこと聞かぬ 腹の虫

◆ 軽い口 滑ったために 倍返し

◆ また値上げ 節約生活 もう音上げ

◆ 孫の顔 見ると命が 惜しくなる

◆◇◆◇◆ 事務局より ◆◇◆◇◆

定期総会のご案内ですが、以下の通り開催しますので、ご出席をお願いします。

1. 日時 4月21日(日) 正午12時より
2. 場所 中島屋グランドホテル
3. 会費 7,000円

年会費の納金について

前号の会報で納金された方をお知らせした以後に納金された方は以下の通りです。

眞野恵美子

上田憲

川上幸雄

深水実

玉木重典

中村正明

佐々木修

内田文江

窪田直和

山下光男

中井弘和

(敬称は省略します。)

未納の方は、早めに宜しくお願い致します。